

意見書提出用紙による意見

- ・「教育環境の整備に関する・・・」ではなく、「小中学校の合併について」など分かりやすくすべき
- ・アンケートの報告は配布でも良かったのでは。
- ・学校の役割は教育の場、地域コミュニティ、防災、街づくりの役割がある。
- ・既存校の改修でもできるのでは。
- ・教育の独自色で「教育移住」の先進地が成果を上げている。
- ・教育環境が充実していないと、子育て世代は出て行ってしまう。
- ・検討委員会の議論の公開。
- ・検討委員会の議論の場では①議論の内容の確認、②他都市事例の視察、③域内学校の聴き取り調査 などに裏付けられた計画を望む。
- ・荒浜、吉田、長瀬小の存続は難しいと思う。危機感をもって対応すべき。
- ・荒浜中は新校舎だから、小学校を同居させられるのでは。
- ・再編・統合を終えた後に、考えた学校規模と実情の調査と再見直しの条件整備
- ・財政を判断基準にした統廃合エリアにしないこと。
- ・児童生徒の推移を基に再編・統合を進めるのではなく、町の特色を生かした魅力ある学校づくりをお願いする。
- ・実現可能な学校規模にするために再編・統合が必要になることを関係者に説明
- ・将来のビジョンが見えない。
- ・将来のビジョンが見えるような資料をお願いする。
- ・小中一貫校や先生の人数等、無理でも進めるべき。
- ・前例主義や固定観念を脱し柔軟な思考で考えるべき。
- ・単に学校を残せば良いという問題ではなく、地域全体の将来をどうしていくのか、街づくり、地域づくりをどう考えるか、検討委員会だけではなく総合的なまちづくり構想が必要。
- ・地域から学校がなくなるのは消滅しても仕方がないと言っているようなもの。
- ・中学校の統合も必要かと思うが、小中学校が同じ敷地や建物にあっても良い。
- ・町が考える学校規模（決まりを考えずに）①1学年の学級数（複数学級）②1学級の児童生徒数（○～○人）③通学距離（小学と中学）④先生の人数
- ・統合するまでに実施することはないのか
- ・莫大な経費がかかるという言い回しは脅しに感じる。
- ・保護者の意見より、教育委員会の意見はどうか。
- ・方向性が見えない。この結果では、「現状維持」とも「再編」とも引き出せる。
- ・法的な制限を考えては進まない。